

**アネスト岩田、「モノづくりを創る」新たな生産技術拠点
Manufacturing Innovation Center【MIC】を横浜に開設**
-加工シミュレーション、試作検証、量産移行まで一気通貫-

アネスト岩田株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員 CEO:三好 栄祐、以下、アネスト岩田)は、生産性向上、製品開発力の強化、ならびに社内外とのオープンイノベーション創出を目的として、2026年6月26日に「Manufacturing Innovation Center(以下、MIC)」を本社敷地内に開設したことをお知らせします。



MICの外観

Manufacturing Innovation Center【MIC】とは

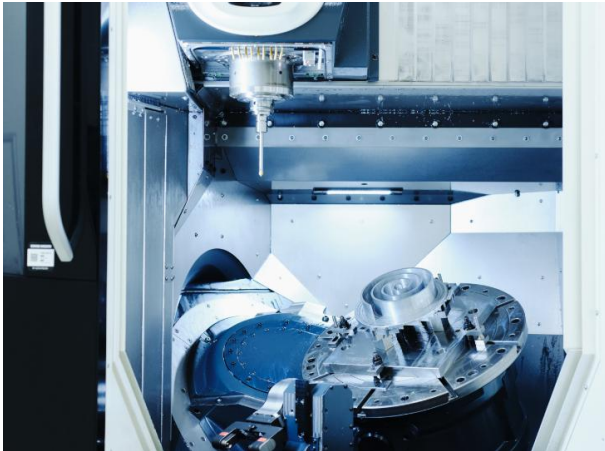
MICは、モノづくりに関する研究開発と、新たに開発した製品に最適な生産工程の開発を担う生産技術開発センターです。加工シミュレーションによる試作検証、量産移行までを一貫して行うことで、製品開発の初期段階から量産性を見据えた工程設計を可能にします。CAMデータを活用し、加工プログラム作成や試作、精密測定、検証を社内で行うことで、外作工程や試作の手戻りを減らし、製品開発のスピード向上とコスト効率化を目指します。

「モノづくりを創る」思想から生まれたMICの特徴

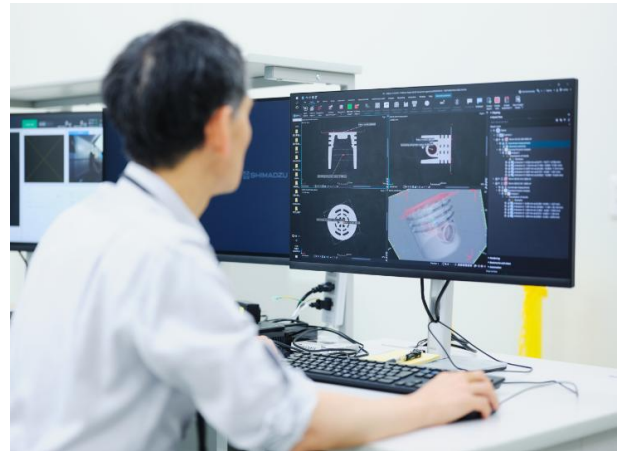
MICは、「モノづくりを創る」というコンセプトのもと、製品そのものの開発に加え、それを最適な品質・コスト・リードタイムで生産するための工程開発に取り組みます。加工シミュレーションやデジタル設計を活用し、実物を作る前に製品形状や加工条件を検証することで、試作の手戻りを減らし、開発初期段階から設計品質と、量産性を高めることが可能になります。

施設内には、金属3Dプリンター、5軸マシニングセンタ、CT測定機などの最新鋭設備を導入しています。CT測定機では、部品を分解せずに内部構造をミクロン単位で可視化でき、外から見えない部位の加工精度や内部欠陥の確認に活用します。

また、金属3Dプリンターと5軸マシニングセンタを組み合わせることで、従来は難しかった複雑な形状の部品製作にも対応します。試作スピードと加工精度を両立し、新製品開発や新たな製造工程の創出を加速します。



マシニングセンタのイメージ



CT 測定機を使用した分析

自社の生産性向上を支える、開発から量産までの一貫通貫体制

MIC は、試作だけでなく、量産を見据えた生産技術開発を担う施設です。MIC で作成した加工プログラムや機械設定は、秋田工場・福島工場などの量産拠点へ展開することを想定しており、開発段階で得た知見を量産工程へスムーズにつなげることができます。

これにより、開発段階から量産性を考慮したモノづくりが可能になります。外作費の削減に加え、部品手配や調整にかかる業務負荷を減らし、開発期間の短縮と生産性向上を目指します。また、これらの内製化を進めることで、海外調達品の仕入れリスクや為替変動による仕入れ価格の変動の影響を受けにくい、安定した生産体制の構築にもつながります。

オープンイノベーションを通じて、技術革新を加速

MIC は単なる研究拠点にとどまらず、全世界の生産拠点を牽引する中核としての役割を担います。ここで確立した革新的なモノづくりの手法を世界の拠点へ発信し、グローバルで高水準かつ均一な生産体制を実現します。

製造業を取り巻く環境が複雑化するなか、新たな価値を生み出すには、社外との連携が欠かせません。MIC は、組織の枠を超えて技術者や開発者が集い、議論し、試し、検証する場として、オープンイノベーションを通じて技術革新を加速させます。

アネスト岩田はこれからも、空気圧縮と塗装の技術を基に、新たな価値を創造し、世界のモノづくりを支えてまいります。

アネスト岩田株式会社 概要

アネスト岩田は塗装機器・設備並びに液圧機器・設備、各種空気圧縮機(コンプレッサ)、真空機器を製造・販売しています。創業から100年の歴史があり、海外20か国以上の拠点からグローバルに事業を展開しています。また、アネスト岩田は「開発型企業」として、世の中の流れをいち早くキャッチし、常に新しい製品開発に取り組んでいます。国内外で1,200件を超える特許出願数を持ち、身の回りの多くの製品はアネスト岩田の製品を使って作られています。

東証プライム上場 証券コード: 6381

神奈川県横浜市港北区新吉田町 3176 番地

▶Web サイト: <https://www.anestiwata-corp.com/jp>

<本件に関するお問い合わせ>

アネスト岩田株式会社 人事総務部 総務企画グループ 広報担当まで Tel: 045-271-5577